

あいさつ

本校では「発達と障害に応じた指導」（昭和63年度～平成4年度）に続いて「豊かな心と生活をめざして」（平成5年度以降現在まで）を研究テーマとして取り上げてきました。

このテーマはノーマライゼーションの思潮の中、Q. O. L（生活の質）の重視、本人の意志の尊重（自己選択、自己決定）など この子たちの現在と将来の充実した生活が教育・福祉の面から求められる時代背景の中から考えられたものであります。今また「指導から支援」、「障害に応じた指導からニーズに応じた指導」、個別指導計画やインフォームドコンセントにもとづいた教育の推進などが求められています。まさにこの教育と子どもたちをとりまく環境は隔世の感があります。しかしながら日常にみる子どもたちの実態とその取り組みは、まだまだ課題の多いものであり、学校教育の質、中身が問われている時代といえるでしょう。私たちはこの子たちの自立と社会参加に向けて、主体的に生き、豊かに生きる力や資質を一層育てていかなければと思っているところであります。

本年度は学校週5日制完全実施を視野にいれ、「教育課程再編にむけた実践研究」をサブテーマにして、これまでの実践の見直しや新たな試みなどを研究紀要としてまとめてみました。新しい教育課程再編の緒についたところであります。

皆様方の率直なご意見ご批判を賜ることができれば幸いに存じます。

平成11年2月

金沢大学教育学部附属養護学校長

宮 口 尚 義